

◆ 金泥書復元の軌跡展 ◆ 開催

◆ アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 金泥書<small>きんでいしょ</small>の技法で、金光明最勝王経<small>こんこうみょうさいしょうおうきょう</small>の復元を成し遂げた福島久幸氏の没後10年にあたる令和6年度、金泥書技法の復元に向けた彼の追求を2つの会場で振り返ります。 ● 福島久幸氏<small>ふくしまひさゆき</small>（1922～2014）は、清水区で、歯科医師の傍ら、金泥書技法の研究を重ねて、初めて金光明最勝王経の復元に成功しました。
◆ 内容など	<ul style="list-style-type: none"> ● 展示場所 <ul style="list-style-type: none"> （1）～金光明最勝王経復元の追求～ 静岡市埋蔵文化財センター（清水区横砂東町33番地2） 令和6年11月29日（金）～12月20日（金） 休館日（土曜、第2・第4日曜、祝日）を除く9時から16時30分まで （2）～人生を彩る植物学と能楽～ 静岡市立登呂博物館（駿河区登呂5丁目10-5） 令和7年1月7日（火）～1月23日（木） 休館日（月曜日と祝日の翌日）を除く9時から16時30分まで ● 展示内容 福島氏が、約20年間にわたり、研究を重ねて金泥書として復元した金光明最勝王経（こんこうみょうさいしょうおうきょう）や、菩多尼訶経（ぼたにかきょう）を研究方法とともに展示します。 ● 金泥書とは 金の粉末を膠（にかわ）の溶液で練り紫紙や紺紙などの紙に筆で書いたものです。 <div style="text-align: center;">  <p>金光明最勝王経（復元）</p> </div>
◆ 参加費等	無料

別紙資料 無

【問合せ】文化財課 文化財保護係（静岡庁舎 16階）

Mail: bunkazai@city.shizuoka.lg.jp

担当 森山・熊谷（054-221-1066）